

# 令和7年度 第1回地域ケア推進会議まとめ(1)

## 「これまでの取り組みの報告等より」

	助言・提言
転入者への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・11月に実態調査を実施しているものの、民生委員への定期的な転入者の情報提供は難しい状況。</li><li>・転居手続きで市役所に来る方に地域の情報が渡せるとよい。</li><li>・民生委員と包括支援センターとの日頃からの連携が大切。</li></ul>
地域の通いの場	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者が楽しみをもって参加できる場をつくっていくことが大切。</li><li>・高齢者が何に興味をもち、地域の場に参加しているかを把握する。</li></ul>
転倒予防	<ul style="list-style-type: none"><li>・転倒予防では下肢筋力やバランスの評価が重要。</li><li>・住民の方に市が実施している取り組みを周知し、広く意識化していくことにより予防的視点にもつながる。</li></ul>
オンラインまちかど	<ul style="list-style-type: none"><li>・参加者にポイントを付与するなど参加意欲を高める工夫ができるとよいのではないか。</li></ul>

## 令和7年度 第1回地域ケア推進会議まとめ(2)

### 「多職種連携会議から把握した課題」

課題	めざす姿	助言・提言
退院後の筋力回復・意欲向上のための支援	体力が回復し元の生活を早期に取り戻すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何度も転倒骨折を繰り返す方がいる</li> <li>・初期の段階で転倒を繰り返さない対策や取り組みができるとうよい</li> <li>・入院中は退院がゴールになってしまい、退院して在宅に戻るときに、在宅生活のスタートとしての意識がもてるよう病院と地域間の連携について取り組めるとよい</li> <li>・退院調整会議に本人自身が会議に参加することが大切。本人への意識づけや目標設定の面では本人参加が必要。</li> <li>・退院調整会議が難しければ、地域ケア個別会議を活用できるといい。</li> </ul>
健康への意欲を維持する	自身のやりたいことに取り組み、健康であり続けたいと思う気持ちももてる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で本人が参加できるとことをつくっていけるとよい。</li> <li>・本人の声を聞くことが大切。</li> <li>・同年代の高齢者がどのような目標や楽しみを持ち、地域の活動に参加しているか、成功体験として要素を探れるといい。</li> <li>・ボッチャなど誰もが取り組めるものをどう広げていくか検討できるとよい</li> </ul>

# 令和7年度 第1回地域ケア推進会議まとめ(3)

## 「地域ケア個別会議から把握した課題」

課題	めざす姿	助言・提言
認知機能低下に伴い金銭管理や判断が難しくなる	認知機能低下となっても適切なサービスや支援を受け生活を維持継続できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・息子による経済的虐待という入り方をすると関係性が悪くなる。息子自身の困りごとに寄り添う。</li> <li>・8050問題、障がい、就労に課題を抱えるケースは、経済的虐待のリスクのあるケースとしてとらえ、関係者を巻き込んで支援する。</li> <li>・日頃から障がい分野と高齢者分野同士の勉強会などつながりをつくる。</li> </ul>
障がいをもつ同居家族への支援	関係機関と連携し・家族に寄り添い、家族の負担が軽減できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいをもつ子どものいる家庭に対して、親自身が今後の生活の見通しを学べる機会をつくれるといい。</li> <li>・両親の死別とともに年金が途絶え、生活保護になる可能性がある。一歩手前で自立を促すための相談から就労準備等の自立支援につなげることが大切。</li> <li>・eスポーツなど高齢者だけでなく、子どもや親子でも参加できる場があるといい。</li> </ul>